

第 20 号

いくせい

発行 備前市青少年健全育成推進本部
事務局 備前市青少年育成センター
TEL 64-4158
FAX 64-4285

全国植樹祭・岡山

香登小児童が

式典に参加しました

昨年五月に全国植樹祭が岡山で行われました。令和二年に苗木のスクールステイモデル地区として備前中学校区の小中学校で苗木の育成に取り組む、五百本の苗木を育てることができました。また、他地域の植樹祭に参加したり、日生牡蠣祭りの植樹にも参加したりしたことなどが評価され、「備前緑の少年隊」として香登小学校の児童が式典に出席することが決定しました。四か月にわたる練習を経て、式典では天皇皇后両陛下のお手植えのサポート役を果たしました。



写真「岡山県」

はぐくもう 輝く 備前の子

～ 地域で 一声 おはよう！～

健やかな青少年の育成を願って

備前市青少年健全育成推進本部
本部長 高取 睦

新しい年を迎え、皆さまには健やかにお過ごしのこととお喜び申し上げます。また日頃より、備前市青少年健全育成のために、ご尽力いただいておりますことに感謝申し上げます。

さて、青少年が心身ともに健全に育つためには、様々な要素がバランスよく作用することが重要です。まず、日光のようなエネルギーが必要です。これは子どもたちが、学校や地域社会の中で、たくさん体験や経験を通じて得られるものです。スポーツ、文化活動、地域の行事など、日々の積み重ねが彼らの未来を輝かせる「光」となり、成長の原動力となります。

しかし、成長には晴天の日ばかりではなく、時には雨が降ることも必要です。雨は学びや気づきをもたらす、困難な状況においてこそ教育の力が発揮されます。悩みや挑戦を経験することで、人はより強く、より深い理解を持つようになります。学校や地域でのサポートを通じて、子どもたちはその「雨」によって成長し、次のステップへ進む準備を整えていくのです。

さらに、根っこの部分である「家庭」がしっかりと支えていることが、子どもたちの健全な成長にとって欠かせない要素です。家庭という安心の土台があることで、子どもたちは安心してさまざまな経験や学びに挑むことができます。私たち大人は、その「根っこ」をしっかりと守り、地域全体で子どもたちを支えていく必要があります。

備前市は地域の力が強く、青少年育成に対しても多くの方々熱心に取り組んでくださっています。今年も、皆さまと共に子どもたちが安心して成長できる環境づくりに努めてまいりたいと思います。

本年が皆さまにとって、そして未来を担う子どもたちにとって、さらに実り多い一年となることを心から願っております。どうぞ引き続き、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

青少年健全育成大会

青少年健全育成ポスター

本年度の備前市青少年健全育成大会は、十一月十六日(土)午後一時より、昨年度に引き続き備前市吉永地域公民館ホールにて開催されました。

開会の挨拶の後、最初に「明るい家庭づくり」作文最優秀作品の朗読発表があり、賞状の授与が行われました。次に、市内中学校弁論大会最優秀受賞者の発表、高校生による意見発表があり、記念品の贈呈が行われました。最後に「健全育成啓発」ポスターの最優秀作品の表彰が行われました。

当日は、大勢の児童生徒・保護者・地域の方々の参加の下、とても有意義な大会となりました。

受賞者

(敬称略)

明るい家庭づくり作文

香登小	一年	齋藤 咲実
日生西小	二年	二階堂 将寛
香登小	三年	小原 結月
三石小	四年	松本 善
吉永小	五年	貞友 蒼真
日生西小	六年	二階堂 義彰
備前中	一年	前原 志保
伊里中	二年	多田 生輝
日生中	三年	三宅 らら



日生西小	二年	武田 樹
香登小	四年	中井 健太郎
伊里小	四年	藤本 結菜
伊部小	五年	木村 圭伸
日生西小	五年	川淵 悠稀
三石小	六年	有吉 悠夏
備前中	一年	藤浪 瑛斗
備前中	一年	松尾 美羽
備前中	一年	山本 七菜子
伊里中	二年	川口 莉央
伊里中	二年	多田 生輝
伊里中	二年	大森 牙

弁論発表者

(敬称略)

吉永中学校二年 臼井 佑太

意見発表者

(敬称略)

備前緑陽高等学校 三年 永井 美玲

片上高等学校 二年 山本 草太

《発表を聞いて》

★大人では感じにくい視点や感性で日常を切り取る作品は微笑ましく、感謝を表現する作品では他人ながら嬉しく感じました。意見発表では、実体験から感じたことを、自分自身の飾らない言葉でまっすぐ伝えてくれました。作者自身が発表している様子、その声や表情などを一人でも多くの方々に、現場で見て感じていただきたいと思います。

★「明るい家庭づくり」作文は、家族への想いが溢れていました。大好きな母への気持ちや、仲良しの祖母、九十三歳のスーパードールおじいちゃんや、亡くなった祖母への思い。また、働いている母への感謝。夏休みにアメリカへ行った体験や、海に暮らすすばらしさを話す中学生もいました。高校生立など、自分の体験を堂々と発表する姿に心を打たれました。

激励賞

がんばっている子に激励賞を！

(小学生～二十歳未満)

令和五年度は、個人十九件の表彰をしました。

☆中学生が、校内ボランティア活動に参加し、トイレ掃除、草抜き、学校菜園での収穫など、みんなのために取り組めた。

☆小学生が、ごみを散乱されて困っていた店舗の方に「手伝います」と声掛けし、一緒に清掃活動を行った。

激励したい子どもがいましたら、育成センター(宮六四一四一五八)にお知らせください。

一人で悩むの、もつやめよう！

内容などの個人の秘密は固く守られていますので、安心してご相談ください。

非行、不登校、いじめ・いたずら、学業・進路、家庭(家族)、学校、友人関係、からだ、その他

『困った！』『どうしよう！』
こんなときには



育成センター
相談電話
TEL 64-4158

相談日：土・日・祝日を除く毎日
(8:30～17:00)

来所相談(面接相談)もお受けします。

青少年健全育成啓発行事

「青少年健全育成啓発講演会」

株式会社脳レボ 代表取締役 川谷潤太先生



講演の論旨

講師は、創志学園やプロ野球等アスリートの精神面をサポートするメンタルプロデューサーの川谷潤太先生です。

子どもの『ヤル気』を引き出すには、普段の「わかった」「やってみよう」「やってみる」という経験の積み重ねが大切である。

人はだれしも驚くほどの潜在能力を持っており、それは心の在り方で行動が変わってくる。できる人の口癖は「余裕」「簡単」「楽勝」など、できない理由を考えるので

はなく、どうやったらできるのかを常に考えているプラス思考だ。

意識をプラス思考にさせるためには、意識を「未来」「外」に向け、「ひとつ」にすることである。

例えば高校受験。「合格」のためイメージは、合格発表の瞬間ではなく、合格後の楽しい高校生活を想像することである。

プラス思考のモットーは、AGTE。A 明るく G 元気に T 楽しく E 笑顔で。

最後に、「地球の人口は、今七十五億人。その七十五億分の一の奇跡の出会いに、ありがとうと感謝したい。」と結ばれました。

講演の感想

★心の向きを「ヤル気」そして前向きに向けることが、身体にまで好影響を与えることを、その場での実演体験を交えて説明されました。

今現在の行動も、意識をより楽しい未来へとつながっていること

を意識するだけで、結実される成果が明らかに変われることを、講師の方の実績を例に説明されました。

高い意識を持つ経験、集中をする力を養うというお話を聞き、これが生きる力を育てるのだろうと想像しました。シンプルな言葉での説明を聞き、私の周りへの「ヤル気スイッチ」を起動する大きなヒントをいただきました。

さまざまな場面ですぐに使える「生きる力の源」のエネルギーをいただきました。

★「どうすれば才能を引き出せるか、どうすれば能力を伸ばせるか、その答えは『意識』にある。」

川谷先生のお話は実に興味深く、教育に携わる我々にとって、大変参考になるものでした。

「意識が変われば行動や習慣、身体にまで変化が現れ、素晴らしい成果につながるはずなのに『自分分に分けるはずがない』『自分た

ちが試合に勝てるはずがない』といった固定観念が、それを邪魔している。」というお話を伺い、我々は、子どもたちの表面的な部分に囚われ過ぎず、もっと「意識」にアプローチしていくべきではないかと、改めて考えさせられました。

★今回のイベントにはPTAの会合で案内をもらって初めて参加しました。子供たちの発表を聞いたあとで先生の講演を聞くと、日頃からやる気を育てていたのかなと思いついていました。

催眠術ではないけれど、身体の変化と心の変化、意識の変化を分かりやすく説明されたので、自分でも子供たちにさっそく試してみます。心の向きを楽しみ未来へ向けていっばい想像して、その未来へ向けるよう、自分自身や周りの子どもたちなどへ関わりたいと思います。

地区指導員

地 区	氏 名
西 鶴 山	森安 かな
	長 田 規 代
香 登	小 坂 郁 子
	武 用 亨
伊 部	吉 田 周 二
	大 崎 俊 佳
片 上	平 岡 正 三
	玉 野 辰 男
伊 里	松 井 和 美
	星 野 順
東 鶴 山	三 箇 一 禎
	武 内 智 宏
三 石	林 田 基 成
	難 波 眞 二
日 生	山 口 順 子
	有 吉 由 美 子
吉 永	米 本 三 恵
	高 取 宏 樹

備前市青少年育成センターでは、地域に密着した青少年の健全育成を目指して、地区指導員を委嘱しています。

青少年のことで、気になることがありましたら、地区指導員が育成センターにご相談ください。

#便利なスマホ しかし 上手に付き合わないと

子供たちのスマホ (SNS) でこんなことが!!

- case 1 女の子同士だと思ってやりとりをしたら
▶ 下着姿の写真を交換、でも相手は男性で脅迫されることに
- case 2 「家出がしたい」と書き込んだら
▶ 親切な人が現れて優しいことを言ってくれた→家に行ったら監禁されて性被害、殺人
- case 3 お気に入りの写真をアップしたら
▶ 様々な個人情報が特定され、つきまといや脅迫の被害に
- case 4 友達間だけのやり取りと思って ふざけた言葉や写真を投稿したら
▶ 誰かがおもしろがって拡散 炎上して大変なことに
- case 5 他人のおもしろい動画を勝手に投稿したら
▶ 投稿された人が怒り、暴力・脅迫・殺人



なぜこんなことが??

- 写真には、場所・時間・建物・位置情報など様々な情報が入っている。
- 炎上すると個人情報が特定され、様々なサイトに載せられ、その情報がネット上に残り続ける。
- SNSは、友だちだけでなく、知らない人にも見られている。

親子でしっかり話し合って! スマホのこと 社会のこと



だから、こんなことが大切!!

- 個人情報や写真を載せない
- 投稿する前に不適切な内容ではないか確認する
- 投稿後に何が起こるかを考えてから投稿する
- ネットで知り合った人に会いに行かない
- 親子で十分に話し合って
使い始めにルール作り、何か起こった後どうする etc
- スマホには必ずフィルタリングサービスやペアレンタルコントロールを導入する
 - 利用時間の制限、調整する
 - 有害な情報を含むサイトへのアクセスを禁止する
 - 子供のインターネット利用状況を確認する
- ID・パスワードをしっかり管理する

困ったときの相談窓口

子どもの人権 110番 0120-007-110
 性犯罪・性暴力被害者のためのワンストップ支援センター #8891
 性犯罪被害相談電話(警察) #8103